

令和5年度 高知県死因究明等推進協議会議事要旨

日 時: 令和6年2月15日(木) 18:30~20:30

場 所: 高知城ホール 2階 中会議室

出席者: 古宮委員(会長)、伊与木委員(副会長)、小松委員、濱田委員、中村委員、辻委員、
南委員、田中委員、藤野委員(計9名)

【事務局(医療政策課)】 宮地課長補佐、吉本主査

1 開会

・藤野委員から開会の挨拶

2 死因究明等に関する施策の推進状況について【資料1、2】

・厚生労働省医政局医事課死因究明等企画調査室の杵山室長補佐から資料1、2を基に、国の施策の現況、今後の動向、主な支援施策事業及び現在検討、取り組みを進めている現行の死因究明等推進計画の見直しの概要について説明。

3 会長、副会長の選任について

- ・令和5年12月28日付け委員委嘱の更新に伴う選任。
- ・事務局が古宮委員を会長に推薦→全委員の賛成により会長は古宮委員に決定。
- ・古宮会長が伊与木委員を副会長に指名→伊与木委員の承諾により副会長は伊与木委員に決定

4 各機関の取組実績について【資料3】

・各機関から資料3の取組実績について説明。

<質疑等>

○項目1

(委員) 日々発生する事案対応のため受講できない捜査員がいるとのことだが、実際にそういった方は何名ぐらいか。

(県警) 人数は計上できていない。

(委員) 人材育成で法医学講座に研修生として、1年間在籍させる取り組みについて、いつから行っているか。

(海上保安部) 今の段階で把握できていない。きっかけは各都道府県で本部とつながりが強いことが挙げられる。

○項目2

(委員) 画像転送システムのメリット、デメリットがあれば教えていただきたい。

(県警) メリットは静止画の画素も上がっており、360度リアルタイムで見れるので、現場の状況把握

がしやすくなった。デメリットは動画であっても2Dの世界であるので、細かなところが情報として伝わりにくい。

○項目3

(委員)無関心期は何歳から何歳なのか。また、講座に対して一般の方はどんな反応だったのか教えていただきたい。

(医師会)無関心期は限定していない。また、講座は各自治体でもやっており、それを受けられた方は多くいるが、受けた方がそれを横に広げていくかといったら難しい。その転換の仕方を考えていけないといけない。

○項目4

(委員)死後のCTについて

(医師会)AIの実施率が高くなっているが、専門の人でないと非常に読影が難しいので、知識とか読影専門の方を増やす取り組みが必要。

○項目5

(委員)死因究明と大規模災害との結びつきについて

(法医学教室)国の計画を参考にし、高知県では南海トラフが予想されているということで、大規模災害の項目が入ったと記憶している。次年度、重点項目の見直しがあるので、また議論させていただく。

(委員)全国統一のデンタルチャートのデータベースの構築は進んでいるのか。

(歯科医師会)どのようにどのようなデータを残すのか、現在厚生労働省と日本歯科医師会で話し合っている。

5 課題事項について【資料4】

・放射線技師会から撮影料金に関して、課題提案があり資料4のとおり回答。

6 その他

<事務局から>

・次回の協議会の予定について、内容としては各機関の取組実績の他に、令和6年6月頃に閣議決定する第二次死因究明等推進計画の内容を確認させていただき、必要に応じて重点項目の見直しを協議していただくことを考えている。

→委員から異議無し。

7 閉会